令和８年度第２回大分県総合教育会議次第

令和８年８月７日（金）
１６：００～１７：００
県庁本館４階第一応接室

１　開会

２　あいさつ

３　議題

　　高校教育改革について

４　閉会

資料1

2040年の就業構造推計 〔2026年3月 経済産業省経済産業政策局 2040年の就業構造推計(改訂版)より〕

2040年の主な職種の需給ミスマッチ数(供給数－需要数)

	合計	専門職		(うちAI・ロボット等の利活用を担う人材)		事務職		現場人材		(生産工程従事者)		(その他現場人材)	
	数(A)	数(B)	割合(B/A)	数(C)	割合(C/A)	数(D)	割合(D/A)	数(E=F+G)	割合(E/A)	数(F)	割合(F/A)	数(G)	割合(G/A)
全国	**0万**	**△181万**	②	△339万	①	**437万**	③	**△260万**		△206万		△54万	
(需要数)	6,303万	1,867万	29.6%	782万	12.4%	1,039万	16.5%	3,283万	52.1%	731万	11.6%	2,552万	40.5%
(供給数)	6,303万	1,686万	26.7%	443万	7.0%	1,476万	23.4%	3,023万	47.9%	525万	8.3%	2,498万	39.6%
大分県	**△5.0万**	**△3.1万**		△4.0万	④	**2.9万**	⑤	**△4.7万**		△2.1万		△2.6万	
(需要数)	55.3万	15.2万	27.5%	6.2万	11.2%	9.1万	16.5%	30.1万	54.4%	6.3万	11.4%	23.8万	43.0%
(供給数)	50.3万	12.1万	24.1%	2.2万	4.4%	12.0万	23.9%	25.4万	50.5%	4.2万	8.4%	21.2万	42.1%

※職業分類は令和4年就業構造基本調査で用いた職業分類(総務省)による。「専門職」は専門的・技術的職業従事者を指す。また、うち「AI・ロボット等利活用人材」は、機械技術者やその他の情報処理通信技術者等の職種を集計。「現場人材」は、生産工程従事者、建設・採掘従事者、サービス職業従事者等の職種を集計。

【全　国】

- AI・ロボット等利活用による省力化に伴い、**事務職は約437万人の余剰(①)**が生じる可能性。
- 多くの産業において、**AI・ロボット等利活用人材(約339万人(②))や現場人材(約260万人(③))が不足**。
- 2040年に十分な国内投資や産業構造転換が実現する場合、人口減少により就業者数は約6,700万人から約6,300万人となるが、AI・ロボット等の利活用やリスキリング等により労働需要が効率化され、全体で大きな不足は生じない。

【大分県】

- 各分類の需要数の割合は**全国と類似だが、全体では不足が生じている。**
- **事務職は約2.9万人の余剰(④)**が生じる可能性。
- **現場人材のミスマッチが最も大きく、約4.7万人が不足(⑤)**。

大分県の職業別　求人・求職者数

〔大分労働局　職業別,求人・求職バランスシート【詳細版】2026年度5月より〕

	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率
管理的職業	**57人**	**51人**	**1.12**
専門的・技術的職業	**4,775人**	**2,897人**	**1.65**
うち建築・土木・測量技術者	668人	112人	5.96
うち医師、歯科医師、獣医師・薬剤師	134人	37人	3.62
うち保健師、助産師、看護師	1,442人	852人	1.69
うち社会福祉専門職業	1,169人	587人	1.99
事務	**2,093人**	**4,310人**	**0.49**
販売	**1,511人**	**1,102人**	**1.37**
サービス職業	**4,923人**	**2,250人**	**2.19**
うち介護サービス職業	1,660人	682人	2.43
うち接客・給仕職業	1,160人	383人	3.03
農林漁業	**235人**	**259人**	**0.91**
生産工程	**2,088人**	**1,205人**	**1.73**
輸送・機械運転	**1,261人**	**551人**	**2.29**
建設・採掘	**1,493人**	**335人**	**4.46**
うち建設躯体工事従事者	177人	22人	8.05
うち土木作業従事者	461人	102人	4.52
運搬・清掃・包装等	**1,807人**	**2,098人**	**0.86**
その他（分類不能）	**0人**	**5,351人**	**－**
職業計	**20,898人**	**20,558人**	**1.02**

資料2

R8年度　産業人材確保・育成に係る高校生向けの主な取組（予定）

分野	取　　組	担当部局
共通	**・県内企業と生徒や進路指導担当教員とのマッチング** 合同企業説明会や県内企業と高校進路指導担当教員の情報交換会等を開催 **・おおいたジョブステーションによるキャリア教育支援** 高校に赴き、職業人講話や職業意識形成講習などを実施 **・WEBマガジン「おおいたカテテ！」による県内企業情報発信** WEBサイトや保護者を含めたメール配信により県内企業の魅力を周知	商工観光労働部
製造業 ものづくり	**・県内企業の魅力発信の支援** 工業系学生の人材確保に繋げるため県内企業が持つ優れた技術やものづくり産業の魅力を直接アピールする場を設定 ※おおいたテクノピッチ…対象：大学（1～2年生）・高専（3年生） **・半導体人材育成プログラム（地元企業と連携したキャリア教育）** キャリア教育や校外学習において、県内の半導体関連企業と連携し、出前講座や工場見学を通じて、実際の現場や技術に触れられる学びの機会を提供	商工観光労働部
建設業	**・ネガティブイメージ払しょくに向けた出前講座の実施** **・建設業体験学習の実施** 工業系学科に在籍する高校生を対象に公共工事等の現場見学、職業講話等を実施 **・建設産業で働く社会人と学生との交流会、意見交換会の開催** 産学官が連携して人材の確保・育成を支援する「BUILD OITA」や、建設産業における女性活躍を推進する「Buildy」において、建設産業への理解促進と就職意識の醸成等を目的とした学生との交流会・意見交換会を開催	土木建築部
農林 水産業	**・農林水産系高校対象の合同会社説明会等の開催** 県内の農林水産系会社等による説明会を通じて、就業意識を向上 高校生へ農林水産業就業体験や進路指導教員との情報交換会を実施 **・農大と農業系高校との高大連携によるｷｬﾘｱ教育の実施** 農大にてオープンキャンパスや実習受入、出前講座等によるキャリア教育を支援	農林水産部
航空 産業	**・大分空港お仕事見学会の開催** 空港近隣の高校生（国東・日出総合）を対象に、グランドハンドリング業務等の現場見学・意見交換会を開催 **・パンフレット、動画制作による情報発信** 空港で働く魅力を周知啓発するため、高校生が出演するショート動画の作成等、SNSを活用した情報発信を実施	企画振興部

各分野の取組を進めていくうえでの、高校（教育委員会）との連携について

- ◆ **就業意欲を高めるキャリア教育**の強化・**専門学科の魅力向上及び充実**を検討してほしい。
- ◆ 生徒だけでなく、生徒の就職決定にも影響を与える**教員や保護者への周知等**にも協力して欲しい
- ◆ 魅力発信（出前講座、説明会等）への**協力・積極的な受入**をお願いしたい

資料3

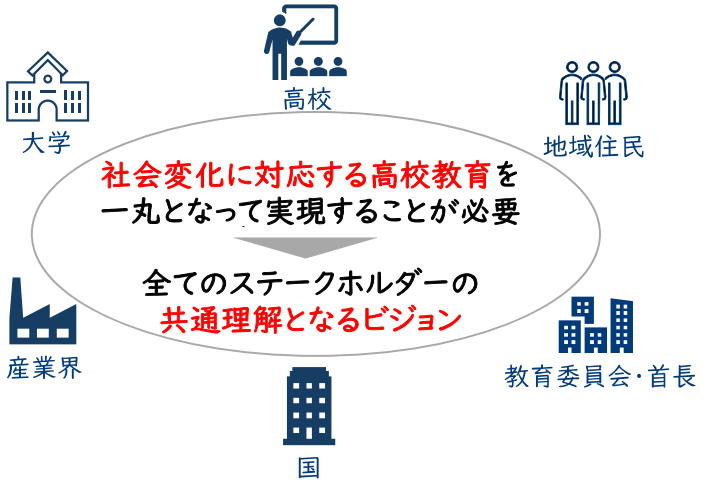
高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）【概要】
～2040年に向けた「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」～

New Education, New Excellence, New Transformation of High Schools

1. グランドデザインの背景・必要性

✓ AIの実装などデジタル技術の目まぐるしい発展
2040年には、少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化が一層深刻化
→現在の人材供給トレンドが続けば、労働力需給ギャップが発生
（事務職は余剰、AI・ロボット関係、いわゆる理系人材は不足）

✓ 将来を正確に予測することは難しく、どのような未来が訪れるか分からない
→生徒それぞれの多様な個性やニーズ、興味・関心に応じた学びを生かした自己実現を支え、生徒の可能性を広げ能力を伸ばす
→全ての高校生が家庭の経済状況等に左右されることなく、希望する大学等への進学や就職等をし、それが個人の幸福につながり、ひいては、我が国の経済・社会の基盤を強いものとしていくことにつながる



2. 高校改革の方向性～2040年に向けた高校の姿～

視点1　不確実な時代を自立して生きていく主権者として、AIに代替されない能力や個性の伸長

学びの在り方の転換（New Transformation）

✓ リアルとデジタルの良さを組み合わせつつ、「好き」を育み、「得意」を伸ばす機会を確保し、生徒の実態を踏まえた柔軟な教育課程の実現
✓ スクール・ミッション、スクール・ポリシーを踏まえた教育活動の改善、公表
✓ 高校教育と一貫した大学教育改革（主体的・自律的な学修のための環境構築、出口における質保証等）

視点2　我が国や地域の経済・社会の発展を支える人材育成

最先端を学ぶ高校の特色化・魅力化（New Excellence）

✓ 探究・文理横断・実践的な学び、STEAM教育、産業界と協働した専門高校の学びの充実
➡ 理数・文系的素養やAIを使いこなす力を身に付け、社会で活躍するロールモデルを体感

✓ 各高校の特色化・魅力化
➡ 学科構成の見直し、専門高校の機能強化・高度化、グローバル人材の育成
➡ 「普通科」の在り方の転換、即戦力の人材と進学を見据えた高度専門職人材の育成

視点3　一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保

学ぶ機会・アクセスの確保（New Education）

✓ 全国どこにいても多様で質の高い学びを保障し、地方の生徒はもとより誰一人取り残されず、全ての生徒の可能性を最大限引き出す
（地理的アクセスの確保、都道府県の実情等に応じた学校配置・規模の適正化、小規模校を含む遠隔授業等の推進）
✓ 通信制高校の教育の質の確保・向上
✓ 不登校生徒への学習支援、特別支援教育や日本語指導が必要な生徒への教育の充実

3つの視点を重視しながら、更なる高校改革を進め、N-E.X.T.ハイスクール構想を実現する。
高校から大学・大学院に至るまでの一貫した改革により、強い経済や地域社会の基盤となる人材を育成する。

3. N-E.X.T.ハイスクール構想の中核となる高校支援

国の
高校教育改革に関するグランドデザイン策定

都道府県 実行計画策定

総合教育会議等を活用し、地域別就業構造の推計や人口の将来推計等を踏まえて検討。首長、関係部局、大学、地域の関係者や産業界との連携・協働を図る。

安定財源を確保した上で、
交付金等の新たな財政支援の仕組みの構築

基金の執行状況等を踏まえ、R9年度予算の編成過程で検討。

※交付金等の構築に先立ち、高校教育改革のための基金を都道府県に造成し、N-E.X.T.ハイスクール構想の実現のために、パイロットケースとして先導的な学びの在り方を構築する高校（改革先導拠点）を創設。

新しい学校のイメージや取組例

専門高校の機能強化・高度化（アドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成等）

（学校のイメージ）
地域発のイノベーションを興すことのできる人材等の育成を目指し、理論と実践の往還によるカリキュラムの実施等に取り組み、必要な施設設備の高度化が図られた学校

（取組例）
- ✓ ビジネス経験の必修化
- ✓ ものづくりから流通まで一体的な学びの実践
- ✓ 「高校版企業寄附講座」等の実践やそれを前提とした進学・就職機会の確保

普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化（文理の双方の素養を有する人材の育成等）

（学校のイメージ）
文理にとらわれない幅広い教養等を備えた新しい価値を創造する人材等の育成を目指し、実社会につながる生きた授業の実践等に取り組み、必要な施設設備の高度化が図られた学校

（取組例）
- ✓ 実社会につながる生きた授業の実践
- ✓ 高度実験環境を核とする理数探究拠点整備
- ✓ 探究型授業研修の充実による教師のスキル向上、探究伴走支援専門チームの構築

地理的アクセス・多様な学びの確保

（学校のイメージ）
学校の枠を超えて多様な人々と協働し、社会の課題を主体的に探究・解決できる人材等の育成を目指し、柔軟で質の高い学びの実践等に取り組み、必要な施設設備の高度化が図られた学校

（取組例）
- ✓ 学校間連携や遠隔授業等を活用した教育機会の確保
- ✓ 学校と地域の関係機関の連携・協働の強化による学習環境の提供
- ✓ 他の学校種との連携の充実

これらの取組の一環として、留学支援を含むグローバル人材育成支援や、学校と地域が連携・協働した学力向上・学習支援などについて取り組む。

2040年までに達成を目指す目標

【職業教育の高度化・魅力の強化関係】
・地域の産業界等と連携・協働した取組を行う専門高校：100%
・少子化傾向においても専門高校の生徒数を現在と同水準

【普通科の在り方の転換・魅力の強化関係】
・文理横断的な学びに取り組む普通科高校：100%
・普通科でいわゆる文系と理系の生徒の割合：同程度

【多様な学びの確保関係】
・学びの状況に関する生徒の肯定的な評価の向上
・高校卒業段階の進路未決定者の割合の半減

アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援

大分県立大分工業高等学校

全日制／工業科

高度工業人材育成拠点
～つくる手×デジタルが大分の工業の未来をつくる～

人材育成の現状・課題

[本県の状況]製造業(自動車,半導体,コンビナート等)や建設業は産業従事者の約22%を占める本県の基幹産業
[現状と課題]①工業高校生の県内就職率61.4%(R7)、理工系学生の県内就職率22.5%(R6)で人材確保が課題
②実習設備の陳腐化･老朽化(20～30年超)により企業水準の技術教育が困難
(半数以上の工業科生徒が「先端技術対応の学び」「大学･企業と連携した実践的な学び」を希望)
③県内企業･大学等との連携により本県工業の振興を担う人材と工業教育を担う人材の育成が必要

主な事業内容

◎学科横断型科目の開発



➢鉄鋼・半導体・自動車等の地元産業と連携し、「半導体テクノロジー基礎」、「グリーンコンビナート概論」等の学科横断型科目を新開発

◎ものづくり拠点施設の設置



➢本県の産業特性に対応し、最新半導体実習機器等を導入。各学科が横断的に活用



➢6学科共用の実習スペースを整備。企業技術者・大学教員を招いた合同実習や、3Dプリンタ等を活用した課題解決型学習を展開



◎企業・大学・他学科等と連携した学びの社会実装



➢商業科との連携によるマニュファクチャリングチェーン研究や福祉科との連携による介護支援ロボット研究等を実施
➢高校在学時の聴講科目を大学進学後に単位認定されるアドバンスト・プレイスメントの検討

事業概念図

学科横断の新設科目による高度専門人材の育成

電気×電子・機械×工業化学・建築×土木の本県産業の特徴を踏まえた３科目を新設し、産業界・大学との連携により高度な学びを提供



産業界・大学と連携したインターンシップ

地元企業での長期インターンシップを導入し、現場での実践を通じ、高度技能者・開発技術者としての専門力と職業意識を育成する。

他校への普及・波及

・工業科設置校（県内工業高校）が協力校として参加
・オンライン部活動・教員研修等を通じた連携を実施

資料4

大分県高等学校教育改革実行計画（文科省が示す記載項目）

第１章　本計画について
　１．計画策定の趣旨
　２．計画の位置づけ
　３．計画期間
　４．計画策定までの経緯（検討体制など）
第２章　大分県における高校教育の現状と課題
　１．高校教育を取り巻く社会的な状況
　２．本県における高校教育の現状と課題
第３章　高校改革の基本的な考え方と方向性
　１．改革の基本的な考え方
　２．方向性（2040年に向けた高校の姿）
第４章　高校改革の実現に向けて中核となる３つの施策等
　１．専門高校の機能強化・高度化
　２．普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化
　３．地理的アクセス・多様な学びの確保
　４．改革先導拠点の取組
　５．学校と地域が連携・協働した学力向上・学習支援
第５章　その他の具体的施策
　１．学校運営の改善
　２．教育環境の整備・教師を取り巻く環境整備
　（１）学校の配置・規模の適正化
　（２）学校施設の整備方針
　（３）教師を取り巻く環境整備
　（４）教員研修・人事配置
　３．高校入学者選抜の改善
　４．生徒・保護者・県民への周知
第６章　計画の推進
　１．進捗の管理と評価
　２．推進体制
　３．数値目標
　４．改革の工程表

記載内容（想定）

第４章　１.専門高校の機能強化・高度化

※本県の専門高校の機能強化・高度化について**学科ごと**に具体的に記載

※専門的な技術を持つ**即戦力人材の育成**と進学を見据えた**高度専門職人材の育成の双方**から記載

※**施設設備の高度化**が図られた学校をイメージして記載

※**産業界の伴走支援**を受けながら行う教育課程の開発について具体的に記載

※それぞれの取組の**担当課、連携部署等**を記載

第４章　２.普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化

※地域の高等教育機関との連携・協働による理数系教育、学際的・複合的な学問分野に即した学び、地域社会が有する課題や魅力に着目した学びなど、**教育課程の工夫**について具体的に記載

※文理横断的な学びを支える**施設設備の高度化**が図られた学校をイメージして記載

※実社会に繋がる生きた授業の実践に必要な**外部専門人材等との連携・協働体制**等について記載

※それぞれの取組の**担当課、連携部署等**を記載

高校教育改革実行計画策定に係る組織とスケジュール

策定に係る組織

外部委員会

教育改革実行計画策定委員会

〔構成〕高等教育機関、産業界、知事部局、学校関係（校長協会）
〔会議〕３回開催（R8.9～R9.2）

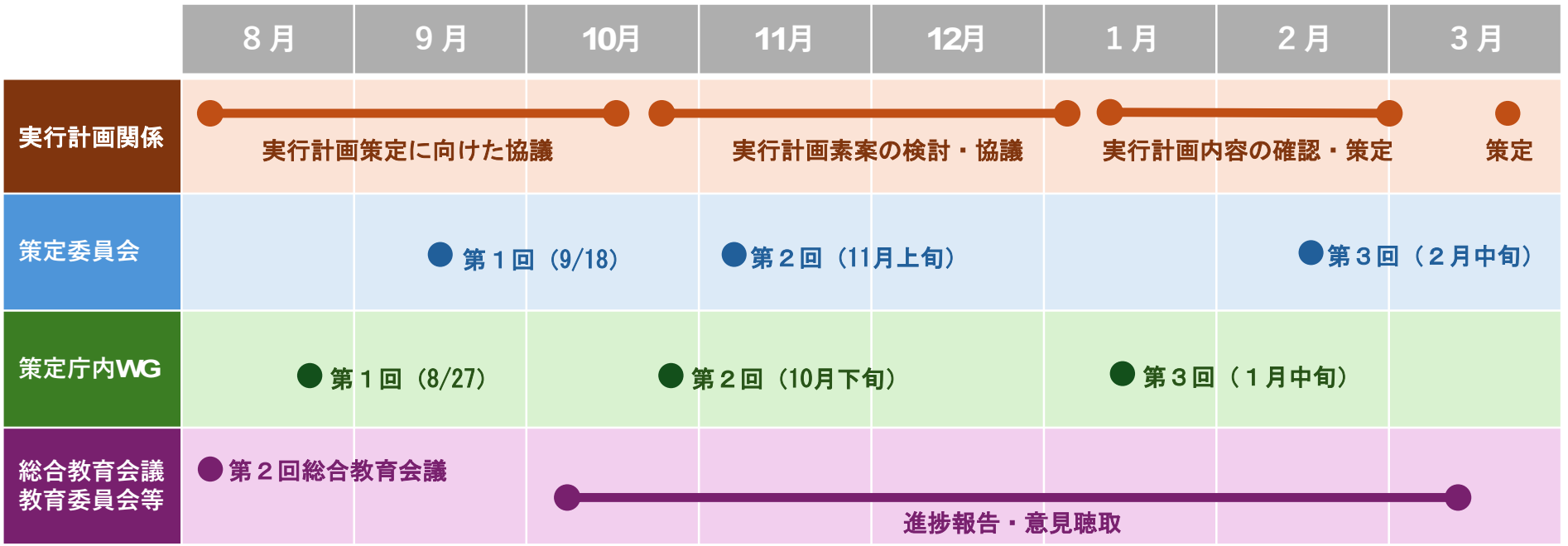
連携
協働

教育庁　**知事部局**

教育改革実行計画策定 庁内ＷＧ

〔構成〕教育次長、教育庁各課課長、知事部局関係各課課長
〔会議〕３回開催（R8.8～R9.2）

今後のスケジュール（予定）



資料5

専門学科の取組について①

工業科 の取組　例：大分工業高校

■ 人材育成確保上の課題

- 県外への進学による人材の流出
- 県内就職者の減少
- ３年以内の離職者数の多さ
- 施設・設備の老朽化による技術進歩への対応の遅れ

➢ **専門職従事者の育成**
・県内各企業と連携し、外部講師招へい授業や現場・工場見学を実施
・企業や学校等と連携し、校内進路ガイダンスを実施

➢ **県内就職者確保に向けた取組**
・県内各企業や大分県建設業協会と連携し、地元企業へのインターンシップ実施
・県内４校にキャリアプロデューサーを配置し、県内企業の魅力を生徒に伝える取組を展開

連携先：(株)デンケン、柳井電機(株)、大分キヤノン(株)


（校内進路ガイダンス）

農業科 の取組　例：久住高原農業高校

■ 人材育成確保上の課題

- 栽培・飼育管理技術の習得
- 農業従事者の担い手確保と農業系大学への進学率の低下
- 地域課題への対応

➢ **関係機関との連携**
・農業人材育成事業として、関係機関と協定を結び、農業に関する専門的知識・技術、農業経営に関する実践的な学習を推進

➢ **農業人材確保に向けたキャリア教育**
・農業就職を現実として捉える機会として、地元農業法人等就職説明会を実施。また、大学訪問を通し最先端技術等における研究に触れ、学び続ける人材を育成。

➢ **プロジェクト学習の推進**
・地域と協働した学びを実施し、地域活性化を担う人材を育成

連携先：竹田市、JA全農おおいた等


（地元農業法人等説明会）

水産科 の取組　例：海洋科学高校

■ 人材育成確保上の課題

- スマート水産・DX化への対応
- 地域課題への対応
- 地元水産業・関連企業等への就職率・定着率の向上

➢ **最先端機器に触れる機会の確保**
・水産関連企業と連携し、最先端機器に触れる機会を確保するなど、水産業の未来を想起する取組を推進

➢ **水産×防災教育**
・地域と連携した防災備蓄用の「かぼすブリ缶詰」の研究・製造

➢ **関係機関との連携したキャリア教育**
・水産・海運関連企業でのインターンシップの実施や、関連企業の専門家を外部講師として招いた授業を行うことで、業界の現状と将来の展望を見据えたキャリア教育を推進

連携先：ｵﾚﾝｼﾞﾌｪﾘｰ(株)、宇和島運輸(株)、大分海運(株)


（かぼすブリ缶詰加工実習）

専門学科の取組について②

商業科 の取組　例：大分商業高校

■ 人材育成確保上の課題

- 地域産業が求めるデジタル人材の育成
- 県内就職・地域定着の促進
- 変化に対応できるビジネス人材の育成
- 地域課題への対応

➢ **県内企業との連携**
・地域人材の育成・確保につながるキャリア教育を推進
　連携先：大分県信用組合、大分商工会議所

➢ **地域課題解決学習の推進**
・課題研究を通して地域住民や自治体と連携したフィールドワークを実施し、地域活性化を担う人材の育成
　連携先：府内五番街・臼杵市竹宵ボランティア・臼杵市役所

➢ **地域の魅力の理解深化を図る取組の実施**
・愛媛県の高校生との教育交流を通して、地域の魅力の理解の深化を図る


（湯平地域の石畳清掃活動に参加）

福祉科 の取組　例：大分南高校

■ 人材育成確保上の課題

- 高等学校福祉科の定員確保
- 福祉の中核を担う人材の不足
- 最先端の知識や技術を持ち、
- 福祉をアップデートできる人材の育成

➢ **福祉先端知識・技術教育**
・大学や地域の介護施設と連携し、ノーリフティング・ケアや介護DX等進化し続ける福祉の最先端知識・技術に触れ、学び続ける人材を育成
　連携先：熊本学園大学、大分県介護福祉士会等
・福祉先進国の介護学生とのオンライン交流の実施
　連携先：デンマーク王国 SOSU HORSENS

➢ **福祉の魅力発信**
・福祉科の生徒による小・中学校への出前講座の実施
・SNSでの情報発信やパンフレッドなどの配付


（中学生を招いての福祉講座）

情報科 の取組　例：情報科学高校

■ 人材育成確保上の課題

- AI・データサイエンス分野を担う人材の不足
- DXを推進するデジタル人材の不足
- 地域産業を支える高度デジタル人材の不足

➢ **次世代デジタル人材の育成**
・企業と連携した探究活動やデータ収集・分析、地域や学校の課題を題材としたアプリの企画・設計等の実践的な学習の推進
　連携先：株式会社vitalize（別府支社）

・AIやデータサイエンスに精通した専門人材を特別非常勤講師として採用し、探究活動や情報教育の支援体制を充実させることで、急速に進展するデジタル技術に対応できる人材を育成


（アプリ開発についての探究学習）

理数分野の取組について

■ 現状・課題

- 平成22年度からSSH指定校を核としたコンソーシアムを構成し、生徒同士による科学への興味、探究力、表現力育成に取り組んできた。
  各校においては、文理横断の探究学習に意欲的に取り組んできたが、データサイエンスの素養などが十分に育成できていない。
- 未来成長分野においては、理系高等教育への進学者の割合の増加、高等教育での実践的な教育が求められている。

SSH校 の取組

■ 大分舞鶴高校

➢ **学校設定教科を中心とした探究活動の質的向上**
・全校体制の課題研究による探究の高度化
・プログラミングや統計学に基づいたデータサイエンスについて学習

➢ **世界とつながる研究活動の推進**
・タイ王国姉妹校（ロッブリー科学高校）との相互交流
・台湾の高校（花蓮女子高級中学）とのオンラインでの研究交流

➢ **地域内外とつながる活動の充実**
・立命館アジア太平洋大学での英語プレゼンテーションの学習や語学研修
・小中学生を対象とした科学体験講座を継続的に実施

■ 佐伯鶴城高校

➢ **学校設定教科を中心とした探究活動の質的向上**
・3年間を通して生徒が段階的に探究を深化
・プログラミングや統計学に基づいたデータサイエンスについて学習

➢ **女性研究者・女性技術者のモデルケースを提示**
（※理系女子生徒育成）
・講演会や研修の講師として女性研究者・技術者を数多く招聘

➢ **地域内外とつながる活動の充実**
・小中学校での出前講座を継続的に実施
・佐伯市商工会議所と連携し生徒がビジネスプランを考案し発表
・台湾姉妹校（国立陽明交通大学附属竹北高級中学）との交流

■ 日田高校

➢ **学校設定教科を中心とした探究活動の質的向上**
・STEAM教育の視点を取り入れたカリキュラム・評価の開発
・高次なプログラミングに基づいたデータサイエンスについて学習

➢ **最先端の学びによる探究活動の質的向上**
・種子島・屋久島での研修やフィールドワーク
・県内企業と連携した研修

➢ **地域内外とつながる活動の充実**
・日田市の行政・企業と連携した地域の課題研究・発表
・小中学生を対象とした科学体験講座を継続的に実施
・小中高合同の理科授業研究会実施

総合的な探究の時間 での取組　例：大分西高校

➢ **興味・関心×データサイエンスによる探究活動の推進**
・文系、理系を問わずデータサイエンスを活用した個人研究の推進
・データを活用して、生徒の興味・関心から課題を設定
・探究に応じたデータの収集や調査・実験を行う

➢ **企業・大学との連携**
・大分大学理工学部の教授から、研究内容・分析に関する助言
・株式会社地域科学研究所（大分市）の研究員を講師として招聘

➡ こうした試みから、文系・理系を問わずデータサイエンスの視点での情報収集や整理・分析を行い、データから価値を創出し、課題解決の答えを見出す人材の育成に取り組んでいる



（夢ナビ全体発表会の様子）

参考資料

大分県産業人材確保･育成プラン（第12次大分県職業能力開発計画）の概要

プランのねらい

■人口減少の中、就業者数は将来的に減少の見通し

■様々な産業で人手不足が深刻化。人材獲得競争が激化する中、人材の確保・育成は喫緊の課題

■若年者の県内就職、女性･外国人材等多様な人材の活躍、事業者のＤＸなど、各部局・分野ごとに対策を推進

■産業人材の確保・育成に関わる各施策を分野を横断して有機的に結びつけ、総合的な対策を講じていく。

プランの構成

第１章　総則
第２章　産業人材確保・育成に係る基本施策
　１　多様な人材が活躍できる環境づくり
　　⑴　若年者の就業支援　　⑵　女性の就業支援
　　⑶　シニアの就業支援　　⑷　障がい者の就労支援
　　⑸　外国人材の活躍促進　　⑹　働き方改革の推進
　２　産業を支える人づくり
　　⑴　技術・技能の振興
　　⑵　企業の人材育成への支援　　⑶　職業能力開発の取組
　　⑷　人手不足分野の人材確保（建設業、運輸業等の９分野）
第３章　プランの推進

プランの位置づけ

■大分県長期総合計画の部門計画

■職業能力開発促進法に基づく職業能力開発施策の基本となる計画（第12次大分県職業能力開発計画）

プランの期間

令和７年度～11年度（５年間）

多様な人材が活躍できる環境づくり

【主な取組】

若年者の就業支援

若年者の県外流出が課題。高校生・大学生向けの取組を強化し、若年者の県内就職を促進する対策を推進

■ キャリア教育等による県内就職の促進
　・地元企業と連携した現場体験授業による職業観醸成
■ 県内企業とのマッチング機会の創出
　・若者と企業の交流の場を創出　・合同企業説明会
■ ＵＩＪターンの促進
　・拠点施設「dot.」の活用　・オオイタカテテの充実
　・エリア毎の傾向を踏まえた移住フェアの開催

女性の就業支援

女性の継続就労を可能とするため、ライフステージに応じた柔軟な働き方や働きやすい職場環境整備を進める。

■ 働く場における女性の活躍の推進
　・認証企業制度の拡大　・企業向けセミナー
■ ライフステージに応じて柔軟に働ける環境づくり
　・育休、短時間勤務等を利用しやすい環境づくり
■ アンコンシャス・バイアスの解消と女性の社会参画促進
　・固定的な性別役割分担意識の解消のための啓発

シニアの就業支援

年齢にかかわらず元気で働く意欲のある高年齢者に活躍してもらうための取組を推進

■ シニア向け求人の拡大による就業機会の確保
■ 働く意欲のあるシニアへの支援
　・就職支援相談員による再就職支援
■ 高年齢者等の就業や社会参加促進のための取組
　・シルバー人材センターの活動を支援

障がい者の就労支援

本県の障がい者雇用率は着実に上昇しているものの、知的、精神障がい者の雇用促進・職場定着が課題。障がい者の希望や特性に応じた多様な就労機会の確保が重要

■ 障がい者の就労・定着のための支援の充実
　・障害者就業・生活支援センターを通じた企業への働きかけや特性に配慮した就業支援
■ 障がい者の工賃向上のための支援の充実
　・おおいた共同受注センターによる受注･販路拡大
　・施設外就労など多様な働き方の促進

外国人材の活躍促進

人手不足が加速する中、外国人材から選ばれる県になるための取組を推進

■ 外国人材の受入れ・活躍支援
　・企業に対し、外国人材雇用に係る理解を促進
　・外国人労働者の就労環境整備を行う企業への支援
■ 多文化共生の推進
　・外国人が地域の一員として活躍できる環境づくり
　・市町村と連携した日本語教育体制の拡充

働き方改革の推進

女性、高齢者、障がい者、外国人など多様な人材が活躍できる社会づくりを推進

■ 働き方改革の推進
　・理解を深める企業向けセミナー開催
　・優良企業の表彰・認証制度の推進
■ 男性の育児休業取得の促進
　・職場の理解促進と環境整備
■ DXによる生産性・付加価値向上
　・企業向け講師派遣、優良事例紹介

産業を支える人づくり

【主な取組】

技術･技能の振興

こどもたちの科学やものづくりへの興味・関心が高まるよう、技術や技能を身につけて働く魅力を伝える取組が重要

- ■ 技能を身につけて働く魅力を伝える取組
  - ・地域の関係機関と連携した職業能力開発施設における講座等の実施
- ■ 科学やものづくりへの興味・関心の向上のための取組
  - ・体験型子ども科学館O-Laboでの講座
- ■ 技能検定制度の一層の普及・活用
- ■ 技能・技能者の社会的評価の向上
  - ・技能コンクールや優秀技能者の表彰

企業の人材育成への支援

人手不足の中、本県産業が維持・発展していくためには、企業が行うリ・スキリングを支援し、労働力の量・質の確保を図っていくことが重要

- ■ 県内在職者のリ・スキリング推進
  - ・県立職業能力開発施設の在職者訓練によるリ・スキリング推進
  - ・技術者の育成に積極的な企業への支援
  - ・人手不足分野におけるリ・スキリング推進
- ■ デジタル人材の育成支援
  - ・習熟度に応じた研修機会の提供を通じた現場のデジタル化を先導する人材の育成支援
  - ・商工団体等と連携した伴走支援の展開

職業能力開発の取組

地域企業が求める即戦力人材を育成するため、職業訓練の充実、認知度向上や地域との連携強化など一層の取組が必要

- ■ 県立職業能力開発施設における即戦力人材の輩出に向けた取組
  - ・地域企業のニーズを反映した職業訓練内容の充実・運営体制の整備
- ■ 県立職業能力開発施設におけるデジタル人材育成のための取組
  - ・デジタル技術を活用したオンライン訓練
- ■ 委託訓練による多様な訓練の提供
  - ・人手不足が顕著な職種での委託訓練の実施

人手不足分野の人材確保

建設業

女性 DX 環境

- ■ 就労環境の更なる改善
  - ・価格転嫁等就労者の処遇改善の推進
- ■ ＩＣＴ活用による生産性向上
  - ・ICT建機、先端技術等の活用による効率化推進
- ■ 多様な人材が活躍できる建設産業の構築
  - ・建設産業で働く女性のネットワーク構築

運輸業

女性 DX 環境

- ■ ドライバー確保に向けた取組（事業者支援）
  - ・必須となる二種免許等の取得に対する支援
- ■ 女性の活躍促進
  - ・女性ドライバーと求職中の女性の交流会開催
- ■ 就労環境の快適化
  - ・休憩室快適化等ドライバーの労働環境改善の支援

宿泊業

DX 環境 外国

- ■ 若年層等の人材確保
  - ・宿泊事業者と高校、専門学校との情報交換会
- ■ 外国人材の活用
  - ・海外大学からのインターンシップ受入れ促進
- ■ 宿泊業の経営力強化に向けた取組
  - ・省力化機器を導入する事業者への支援

農林水産業

女性 DX 環境 外国

- ■ 担い手の育成・確保
  - ・産地の中核を担う経営体の規模拡大を推進
- ■ 多様な人材の活躍推進
  - ・女性や外国人材が就業しやすい環境の整備
- ■ 経営者の意識改革・生産性向上
  - ・スマート技術の導入による効率化や省力化の推進

製造業

DX 環境 外国

- ■ 若年層等の人材確保
  - ・業界の魅力を伝える産学官連携講座の実施
- ■ 人材育成の取組
  - ・半導体、自動車、食品等各分野での研修実施
- ■ 生産性の向上、リ・スキリング
  - ・生産工程最適化等ものづくり力向上のための支援

情報通信業

DX 環境

- ■ ＩＴ人材の確保・育成
  - ・移住希望者に対するＩＴ技術習得支援
  - ・企業と理工系学生との交流会の開催
- ■ 副業・兼業人材の活用
  - ・セミナー、マッチング交流会の開催

保　育

DX 環境

- ■ 保育士確保の取組
  - ・修学資金等貸付けによる養成学校への進学支援
- ■ 働き方改革のための取組
  - ・保育士をサポートする保育補助者等配置の支援
- ■ 魅力の発信
  - ・中高生を対象とした養成校による出前講座開催

医　療

DX 環境

- ■ 医療従事者の確保・育成
  - ・県内外の学生に対する修学資金の貸与
  - ・大分県ナースセンターによる職業相談、研修実施
  - ・就活イベント等を通じたUIJターン促進
- ■ 医療機関の勤務環境改善・働き方改革の推進
  - ・労働時間短縮に向けた体制整備への支援

介　護

DX 環境 外国

- ■ 多様な人材の参入促進
  - ・外国人介護人材受入体制の充実・強化
- ■ 離職防止・定着促進・現場革新の取組
  - ・介護ロボット等の導入による職員の負担軽減
- ■ 基盤構築の取組
  - ・関係機関と連携した介護人材確保策の展開